

## 第 7 期埼玉県障害者支援計画策定方針について

### 1 策定方針

#### (1) 目 的

県全体の障害者施策の向上と計画的な推進を図るため、障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の必要量並びに障害児の子ども・子育て等の利用ニーズを見込み、その確保策等を盛り込んだ計画を策定する。

#### (2) 計画の基本的考え方

障害者基本法に基づく「障害者計画」と、障害者総合支援法に基づく「障害福祉計画」及び児童福祉法に基づく「障害児福祉計画」を一体とした計画とする。

#### (3) 計画期間

第 7 期障害福祉計画及び第 3 期障害児福祉計画の計画期間である令和 6 年度から令和 8 年度の 3 年とする。

#### (4) 策定に当たっての手法

##### ア 障害者団体ヒアリング

障害者団体から会員の意向を踏まえた意見を聴取する。

##### イ ワーキングチームによる課題整理

協議会委員をメンバーとするワーキングチームにおいて計画作成に必要な障害者施策を整理する。

重点課題については、令和 3 年度から令和 4 年度の 2 年間で検討済み。

##### ウ 市町村との連携

障害福祉計画及び障害児福祉計画部分については、市町村との調整を十分行い、適宜、施策推進協議会の意見を求める。

## (5) 計画策定の留意点

本計画は現行の第6期埼玉県障害者支援計画をベースに、障害福祉施策に関する基本的事項や成果目標を定める国の基本指針、障害者施策推進協議会の重点課題などを踏まえて策定する。

### ア 障害者計画

目標年次の見直しに伴い、現行計画の数値目標及び目標達成量をどのように設定するか検討するとともに、埼玉県5か年計画をはじめ他の県計画との整合を図る。

### イ 障害福祉計画

国が障害福祉サービス等の見込量の基本的考え方を示すことを前提に、市町村の見込量を調査し、県の実情に応じた計画を策定する。

### ウ 障害児福祉計画

国が障害児通所支援等の見込量の基本的考え方を示すことを前提に、市町村の見込量を調査し、県の実情に応じた計画を策定する。

また、障害児の子ども・子育て支援等の利用ニーズを調査し、利用ニーズを満たす定量的な目標を設定する。子ども・子育て支援等の利用を希望する障害児が、希望に沿った利用が可能となるよう障害児の受入れ体制の整備を図る。